

2023年12月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年8月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社光響
コード番号 5887 URL <https://www.symphotony.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 住村 和彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 松永 啓吾 TEL 070-6505-5557
中間発行者情報提出予定日 2023年9月29日 配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期中間期の業績 (2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期中間期	702	—	61	—	81	—	53	—
2022年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期中間期	179.97	—
2022年12月期中間期	—	—

(注) 1. 当社は、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、2023年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

(注) 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 3. 2023年12月期中間期より中間財務諸表を作成しているため、2022年12月期中間期の数値及び対前年同期増減率並びに2023年12月期中間期の対前年同期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期中間期	509	300	58.9	1,001.39
2022年12月期	457	246	53.8	820.99

(参考) 自己資本 2023年12月期中間期 300百万円 2022年12月期 246百万円

(注) 当社は、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	0.00	0.00	0.00
2023年12月期	0.00	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2023年12月期の業績予想 (2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,386	17.0	43	△16.8	63	△8.4	42	△6.3	141.08

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2. 当社は、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、2023年12月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期中間期	300,000株	2022年12月期	300,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期中間期	－株	2022年12月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2023年12月期中間期	300,000株	2022年12月期中間期	－株

(注) 当社は、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報.....	- 2 -
(1) 経営成績に関する説明.....	- 2 -
(2) 財政状態に関する説明.....	- 2 -
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	- 3 -
2. 中間財務諸表及び主な注記.....	- 4 -
(1) 中間貸借対照表.....	- 4 -
(2) 中間損益計算書.....	- 6 -
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書.....	- 7 -
(4) 中間財務諸表に関する注記事項.....	- 8 -
(継続企業の前提に関する注記)	- 8 -
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	- 8 -

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、徐々に新型コロナウイルス感染症の影響を克服しつつあり、国民の生活は正常化に向けて進みつつある一方で、円安の進行、日本、米国等における高水準のインフレや、ロシアのウクライナへの軍事進攻による影響等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社は、販売体制の強化と Web マーケティングの拡充を行ったことで、レーザー関連製品の販売が大きく伸長しました。

これらの結果、当中間会計期間における売上高は 702,787 千円、営業利益は 61,125 千円、経常利益は 81,051 千円、中間純利益は 53,991 千円となりました。なお、当中間会計期間は中間財務諸表の作成初年度であるため、前年同期との比較分析は行っていません。

また、当社はレーザー関連製商品の販売及びその関連事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間会計期間末における流動資産は 392,809 千円となり、前事業年度末に比べ 49,691 千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が 83,026 千円増加、棚卸資産が 34,058 千円減少、前渡金が 12,175 千円増加したことによるものであります。固定資産は 117,165 千円となり、前事業年度末に比べ 2,757 千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が 4,589 千円減少、繰延税金資産が 7,224 千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、509,975 千円となり、前事業年度末に比べ 52,448 千円増加いたしました。

（負債）

当中間会計期間末における流動負債は 207,113 千円となり、前事業年度末に比べ 8,990 千円増加いたしました。これは主に買掛金が 17,608 千円減少、1 年内返済予定の長期借入金が 11,514 千円減少、未払法人税等が 13,142 千円増加、契約負債が 12,910 千円増加したことによるものであります。固定負債は 2,445 千円となり、前事業年度末に比べ 10,662 千円減少いたしました。これは長期借入金が 10,662 千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、209,558 千円となり、前事業年度末に比べ 1,671 千円減少いたしました。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産合計は 300,416 千円となり、前事業年度末に比べ 54,120 千円増加いたしました。これは主に当中間会計期間の中間純利益の計上 53,991 千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物の残高は 190,097 千円（前事業年度末比 83,026 千円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは 116,863 千円の収入となりました。これは主に、税引前中間純利益 81,051 千円、減価償却費 14,280 千円、棚卸資産の減少額 34,469 千円、前渡金の増加額 12,175 千円、仕入債務の減少額 17,608 千円、契約負債の増加額 12,910 千円、法人税等の支払額 21,214 千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは 9,937 千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 10,015 千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは 22,176 千円の支出となりました。これは、長期借入金の返済による支出 22,176 千円があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年7月14日に公表いたしました2023年12月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細は本日別途公表いたしました「2023年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

（1）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年12月31日)	当中間会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,070	190,097
受取手形	932	-
電子記録債権	3,606	8,693
売掛金	93,665	86,938
商品及び製品	54,560	38,663
仕掛品	31,571	12,617
原材料及び貯蔵品	9,934	10,727
前渡金	28,659	40,834
前払費用	3,801	3,859
その他	9,315	378
流動資産合計	343,118	392,809
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	63,524	59,117
工具、器具及び備品（純額）	24,935	21,070
建設仮勘定	4,667	8,350
有形固定資産合計	93,128	88,538
無形固定資産		
その他	5,335	5,335
無形固定資産合計	5,335	5,335
投資その他の資産		
投資有価証券	2,782	2,983
出資金	10	10
長期前払費用	82	4
繰延税金資産	3,960	11,184
その他	9,109	9,109
投資その他の資産合計	15,944	23,291
固定資産合計	114,408	117,165
資産合計	457,526	509,975

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年12月31日)	当中間会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,957	39,349
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	32,016	20,502
未払金	17,459	14,578
未払費用	159	2,424
未払法人税等	21,214	34,356
契約負債	4,950	17,860
預り金	5,462	2,744
賞与引当金	650	6,282
役員賞与引当金	466	7,178
その他	8,786	11,837
流動負債合計	198,123	207,113
固定負債		
長期借入金	13,107	2,445
固定負債合計	13,107	2,445
負債合計	211,230	209,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	231,027	285,019
利益剰余金合計	231,027	285,019
株主資本合計	246,027	300,019
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	268	397
評価・換算差額等合計	268	397
純資産合計	246,295	300,416
負債純資産合計	457,526	509,975

（2）中間損益計算書

（単位：千円）

	当中間会計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）
売上高	702,787
売上原価	503,676
売上総利益	199,110
販売費及び一般管理費	137,984
営業利益	61,125
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	18
補助金収入	19,726
その他	1,937
営業外収益合計	21,682
営業外費用	
支払利息	193
支払保証料	69
為替差損	1,493
その他	0
営業外費用合計	1,756
経常利益	81,051
税引前中間純利益	81,051
法人税、住民税及び事業税	34,356
法人税等調整額	△7,296
法人税等合計	27,060
中間純利益	53,991

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	81,051
減価償却費	14,280
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,712
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,631
受取利息及び受取配当金	△19
補助金収入	△19,726
為替差損	1,723
支払利息	193
売上債権の増減額 (△は増加)	2,573
棚卸資産の増減額 (△は増加)	34,469
前渡金の増減額 (△は増加)	△12,175
未収入金の増減額 (△は増加)	5,664
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17,608
未払金の増減額 (△は減少)	△3,087
契約負債の増減額 (△は減少)	12,910
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,050
その他	△563
小計	115,081
利息及び配当金の受取額	19
利息の支払額	△193
補助金の受取額	23,171
法人税等の支払額	△21,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	116,863
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△10,015
その他	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,937
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△22,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,176
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,723
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	83,026
現金及び現金同等物の期首残高	107,070
現金及び現金同等物の中間期末残高	190,097

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。